

市議会だより

常任委員会現地調査

厚生常任委員会では、板子石の「就労継続支援B型事業ワークサンフラワー」を視察し、職員の方々からお話を伺いました。障害を持つ方々が買い物代行や草取り作業、秋田杉でつくった箸やマスコット、アクセサリーの製造・販売などで地域の方々とふれあい、地域社会との交流と共生を目指して活動されていました。

- 議会報告会 市に対する
ご意見・ご要望とその回答 ▶ 2
- 平成30年3月定例会 ▶ 6



平成29年11月開催

議会報告会

市対するご意見
ご要望とその回答

昨年11月に行われた議会報告会における、市に対するご要望等につきまして、議会から市当局へ回答を求めたところ、回答が届きましたので掲載させていただきます。

なお、大館市議会のホームページでも同様に公開しております。

問 長根山駐車場付近に熊の出没が多く、緩衝帯の整備が大事。ボランティアの協力等を得ながら刈り払いを実施してほしい。

答 昨年、駐車場東側の法面にヤマユリの球根の寄附があり、今年度以降は寄附をいただいた団体にその管理と併せ、刈り払い作業を実施していただくこととしており、その周辺一帯の刈り払いは、指定管理者の大館市体育協会が今年度以降継続して実施します。

問 大山（おおやま 松峰神社登山口）に5月ごろ登ったが、山頂からの田代岳など展望が木で遮られて非常に悪く、ぜひ改善してほしい。

答 展望を遮っている木がある土地は、3財産区と6町内の入会地となっており、現地を確認した上で5月下旬開催の山田地区入会地整備協議会に諮り、対応方針を決定します。

問 長木川の桜は老齢化し枯れ枝が多く、落下すれば事故が起きかねない。下の草刈りは町内会でもやっているが、高い所の手入れは市でやってほしい。

答 長木川沿いの桜については、定期的な剪定や適時の薬剤散布に努め、また、見通しを悪くしている枝や家屋に支障のある枝は、剪定時以外にも随時伐採を行っています。今後も桜の育成状況を把握しながら適正な維持管理に努めます。

問 長木川河川敷のテニスコートは整備されないまま放置されている。ほぼ役目は終わったと思うので、撤収して芝生公園にしてほしい。

答 昨年7月下旬に発生した豪雨災害により、コート表面の土砂流出や防球ネット破損等の被害を受け、先般復旧工事を発注しましたが、25年度の災害復旧から経過年数が浅く、復旧に当たっては、表面処理に使用する購入土の縮小や防球ネットの設置を取り止めるなど経費削減に努めています。芝生の整備については費用対効果を勘案しつつ、維持管理に協力いただいている清水町内会や利用者等の意見を伺いながら進めます。

問 御成町一丁目の大正堂前から国道7号陸橋へ向かう代野通りは通学路なので、歩道を区別するラインを引いてほしい。

答 市道大館長木線は、有浦小学校や東中学校、国際情報学院などへの通学路で、町内会などから歩道設置要望のある路線です。昨年度、旧花岡鉄道跡の交差点部から国道7号陸橋までの区間で拡幅工事を行い、3月末までに車道と路肩を区分する外側線を引きました。また、大正堂から旧花岡鉄道跡の交差点部との区間は今年

度に拡幅工事を予定しており、外側線も引くこととしています。

歩行者等の安全確保のため、要望区間については道路拡幅のほか、歩道設置の計画も進めます。



市道 大館長木線

問 中道三丁目付近で、田んぼの側溝に水が滞留し悪臭の原因になっており、コンクリートU字溝を入れてほしい。

答 中道三丁目3号下水路は、今年度から一部区間を整備する計画ですので、今しばらくお待ちください。なお、悪臭発生は生活雑排水の流入も原因の一つと考えられ、当該区域の一部は公共下水道が整備・供用されていますので、悪臭発生を抑えるためにも公共下水道への接続をお願いします。

問 労働力不足を解消するため、外国人の技能研修生制度を活用すべきではないか。市役所に専門部署をつくるなど、商工会議所・商工会と一緒に受け入れ態勢をつくってほしい。

答 労働力の確保に向け、国の働き方改革の一つに外国人労働者の受け入れが掲げられており、地域経済の振興のためには可能な限り外国人の受け入れを進める必要があると考えます。技能実習制度は、海外協力の観点から創設された制度で、中小企業にとっては労働力不足が直面している課題であり、解決の糸口を外国人実習生に求めることはやむを得ないと認識しています。制度運用は国際研修協力

機構が相談の総合窓口となることから、市は相談窓口の紹介に対応します。また、還流型の技能実習制度から定住型の外国人居住者の受け入れへと進めるため、商工会議所や商工会を初めとした経済産業界との議論、さらには教育・福祉面を含め取り組む必要があると考えます。

問 ハチ公に関する商品について、若い人に人気のある外部の人を招聘し新たなグッズをつくってはどうか。

答 市内では、ハチ公関連商品として、お菓子や雑貨など15種類、はちくんグッズはTシャツや帽子、バッグなど約50種類が販売されています。また、渋谷駅東急東横店では東横ハチ公オリジナル商品6種類を扱い好評を得ているほか、同店のイベントで販売する鶏めし弁当の包み紙に、東急百貨店のマスコットキャラクター「東横ハチ公」と大館の「はちくん」をデザインする企画も進んでいます。新たな商品開発はあらゆる年齢層を開拓する意味からも秋田犬のふるさと大館の情報発信に大きく結びつくものであり、さまざまな機会を捉えて外部からの意見・要望等を業者に伝えてまいります。

問 片山八坂地区のほか、道路や側溝の破損は早急に改善整備を。

答 片山八坂地区に限らず、市内全域の道路・側溝は経過年数とともに老朽化が進んでいます。特に生活道路の補修は、重要課題として取り組んでおり、交通量や道路用途（幹線市道、通学路等）から重要度や緊急度を判断し、優先順位を決め計画的に進めているところです。

問 病院の収納業務体制の見直しと、職

員の意識改革が必要である。

答 今回の事件が委託業務の範囲内で起きていることから、委託業務における業務監督責任について契約上に明確化し、業者に対し不正防止策を具体的・実務的に指示することとしました。設備面では現金の入金履歴が詳細に記録され、不法操作の予防に効果的なPOSレジシステムを導入して不正防止を強化しました。また、市職員による業務監督体制と収入金確認業務を見直し、多角的に点検するとともに、常に危機意識を持って日常業務に当たるよう内部統制の確立を図ります。

問 「県の所管だから県に聞け」なる市職員の接遇は遺憾である。

答 職員の接遇については、求められているものは何かを十分理解しながら、市民に寄り添った対応をするよう指導しているところです。市が直接関与しないものであっても、一方的に断ることはせず、解決に向けてのアドバイスや橋渡し役などを担うことが市民の信頼を得ることになり、今後も、市民から感謝いただけるような対応に努めるよう指導してまいります。

問 地域のイベントに、職員は積極的に参加してほしい。

答 職員に対しては、これまでも地域の一員として地域イベントなどへの積極的な参加を促してきました。その参画の意義は住民とのコミュニケーション等の能力向上や、住民との信頼関係の構築による市民協働の推進、職員自身の生きがいの再発見など、市職員として培った見識やノウハウを地域に還元できる絶好の機会と捉え、今後も職員には積極的な参加

を促してまいります。

問 バス路線にもなっている道路脇に「なだれ防止柵」があるが、その周りの雑木が大きくなってしまい、機能が果たせなくなるので伐採してほしい。

答 市道独鈷中野線のなだれ防止柵が設置されている、北向き道路法面に自生する雑木の伐採については、高所作業のためクレーンなどの機械作業も伴うことから、繁茂状況を確認の上、計画的な伐採を検討します。

問 花岡地区総合スポーツ公園の野球室内練習場は、ほこりが多く困っているの



大館工業高校跡地にある「黒鉱」

で除去してほしい。また、黒鉱を保存してほしい。
答 ほこりは人工芝の上の砂が舞い上がりが粉塵となっており、それが考えられますので、今後、人工芝部分に砂が入りこまないよう出入り口に板を敷くことや人工芝部分の清掃作業などを実施します。また、黒鉱は貴重な財産であり、このまま保存します。

問 自治会組織がないので陳情書を出すにしても、その都度、町内会長が集まってリーダーを決めなければならぬ。市が認める団体をつくり、そこを窓口にして市への要望を進めたい。市長・部課長の方々と対話もしたい。

答 町内会は、同じ地区の住民の共通利益の実現と、生活の向上を目的として組

織する任意団体です。地域の町内会長で組織する団体も同様であり、市が設置を認可するものではないため、地域の町内会長の皆さんで話し合っていたかどうかお願います。なお、要望事項は町内単位でも受け付けています。また、市では、市民からの意見を広く市政に反映させ、よりよいまちづくりを実現するため、対話の集い「市民と語る会」を開催し、市長や担当課長が地区公民館等を訪ね、意見・要望に直接答えますので、開催を希望する場合は相談ください。

問 ハチ公温泉施設を過疎地対策で比内側につくってはどうか。比内地鶏の本場として一本化した宿泊可能な施設を考え

ては。
答 観光資源としての温泉の活用は大館の魅力伝える重要な柱の一つであります。現在、市内には14軒の温泉宿泊施設が営業しており、市の指定管理施設では矢立ハイツとたしろ温泉ユツプラが営業していますが、比内ベニヤマ荘は、施設の老朽化に伴い営業再開を断念したところです。また、日帰り入浴施設は市内で13軒が営業しており、そのうち市の指定管理施設は湯夢湯夢の里と二井田市民集会所（ハチ公荘）の2軒です。市の温泉施設は住民サービスの向上と経費節減等を目的とし、指定管理による運営を行っています。要望の温泉施設については、現段階で新たな構想の検討には至っていませんが、大葛町民浴場とベニヤマ自然パークのコテージ等を活用した整備を考えています。宿泊を伴う施設の運営は、需給バランス、施設整備や運営経費などさまざまな課題があり、まずは現在ある入浴施設の充実に努め、ONSENガス

トロノミールオーキング等のイベントを通じ、温泉や比内地鶏を初めとする大館の魅力を発信しながら、観光客を含めた交流人口の増加を図り、その上でビジネスチャンスと捉えた民間事業者の参入に期待したいと考えています。

問 融雪溝の設置について。米代川河川敷公園完成後に計画をお願いしていた。地域の賛同・許可も取り、当時、建設省主導で設置することになっていたのに、ぜひ進めてほしい。

答 消流雪用水導入事業は、河川から市街地を流れる水路等に消流雪用水を供給するもので、国が取水・導水施設を、地元自治体が水路や流雪溝などを整備し、地域が施設の管理運営を担う事業です。合併前に旧比内町が自治体施工部分を精査したところ、流雪溝の整備延長が長く費用も多額となるほか、流末や維持管理体制の構築などさまざまな課題があり、事業化に至りませんでした。固定資産税の減免制度による町内雪寄せ場など、市街地における雪押し場の確保に努めており、また、昨年度から導入した除雪車運行管理システムを活用した、きめ細かな除雪を行います。

問 武道館を解体すれば、どこで練習するのか。武道館を建設してほしい。

答 武道館は、今年で築47年が経過し老朽化が著しく、解体予定です。解体後の活動場所は、小・中学校体育施設開放事業により第一中学校や東中学校の武道場を利用いただくことや、今後、整備を予定している花岡総合スポーツ公園内の武道場を活用いただくなど、今後の活動に支障がないよう関係団体と調整します。

また、代替施設の建設については、大館のまちづくりを見据えながら、ハード・ソフト両面あわせて議論する必要がある。関係団体と協議を重ね、さまざまな角度から検討します。

問 地区の防犯協会などの総会に、平成29年度から市は「勤務時間外の会議には出席させない」とのことだが、何のためか。

答 市は、大館市防犯協会会長から委嘱され、協会の事務局として事務処理を行うほか、三役会や理事会、定期総会などを開催しています。防犯協会各支部の総会開催に当たり、来賓として市に案内をいただきますでしたが、防犯協会会長が出席すべき場であり、市は協会事務局の立場であることから、お断りしたところでありましたが、説明が不十分でした。今後は、市に対する各支部の総会への出席依頼があった場合は可能な範囲で出席いたします。

問 郷土博物館は現在の場所では行きにくい。ジャスコ跡地、大館駅前などに移転し、行きやすい博物館にしたらどうか。

答 現在の郷土博物館には、広大な展示・収蔵スペースがあり、貴重な収蔵物を数多く保管しており、また、所管業務には埋蔵文化財調査も含まれているため、



郷土博物館

遺物の整理作業や保管スペースも同居しています。これを新たな施設として整備するためには巨額な財源を要しますので、十分な検討が必要

です。現施設は耐震補強が必要とされたため補強工事を行い、今後20年程度をめに継続して使用する予定です。新規施設や移転については、市民の声や議会での議論を踏まえ今後の検討課題とします。

問 山王台の交差点に政治家・政党ポスターが多い。柄沢の交差点にも増えており、景観として汚い。1カ所に9枚もあり、選挙期間が終わったら外したらどうか。

答 ポスターには、選挙期間中の選挙運動用と政治活動用があり、選挙運動が終了したときは、選挙運動用ポスターは速やかに撤去しなければなりません。政治活動用ポスターは選挙運動期間以外にも掲示できます。調査したところ、指摘の場所は市有地で、許可なく設置している状態でした。本来、市有地などの公有地には、法律によりポスターを掲示することができないため、早期に撤去するよう掲示責任者へ指導します。

問 市が景観をよくしようというメッセージがどこにもない。道路が壊れている箇所が多い。生活道路は特に悪く、他市と比べても悪い。まちの整備を含め景観を考えてほしい。観光客を迎えるにも必要だ。

答 市の景観については、都市計画マスタープランを見直ししながら、地域特性を生かした景観づくりの推進に向け、景観計画の策定や景観条例の制定を検討しています。歴史的風致維持向上計画では、歴史的建造物などを巡る道路や桜の並木道の美装化を進めており、良好な景観の保全と創出に努めています。また、道路・側溝は経過年数とともに老朽化が進み、

優先順位をつけながら計画的に補修を進めており、特に生活道路は重要課題として取り組んでいます。併せて、イベント開催施設や集客施設等を連絡する幹線道路の補修も計画的に実施するとともに、路肩の草刈りや街路樹の剪定など維持管理面も含め、訪れる観光客などの印象を悪くしないよう、景観に配慮した道路維持や補修、整備に努めます。

問 長木川の河床が浅く、「天井川」になっていないか。水面が足首程度までしかなく水たまりのようで氾濫が心配だ。測量したらどうか。

答 長木川を管理している秋田県では、下内川の合流点から上流側に、順次、築堤などの河川改修事業に取り組んでおり、また、河道掘削事業も実施しています。市街地を流れる長木川は、氾濫すると甚大な被害が発生するところが予想され、引き続き河川改修や河道掘削事業の推進、早期完成について、今後も県に強く働きかけていきます。



長木川

問 3年前の大雨で長根山町内の松の木が倒れ町内会館が壊れた。建物は市のもので改修の動きもなく、解体してほしい。

答 会館の敷地は、昭和49年4月1日から現在まで長根山自治会集会所敷地として、市と長根山自治会との間で土地使用貸借契約を締結していますが、建物の使用貸借契約書が存在せず、現在経緯につ

いて調査中であり、調査が終わり次第、町内の皆様と協議します。

問 広報大館表紙から市章が消え、「はちくん」になっている。復活させてほしい。

答 過去に、表紙のタイトル部分のデザインに市章を取り入れていた時期がありましたが、市章の復活については、紙面デザイン刷新時などの機会を捉えて検討します。

問 少年自然の家の冬期一般利用ができなくなっている。年間を通じて利用できるよう県に言ったがだめだった。市からも働きかけてほしい。

答 県へ確認したところ、維持費などさまざまな状況を勘案し、11月1日から2月28日までは館内利用を休止し、主催事業と出前講座のみを行っているとのことであり、宿泊を伴わない場合は市の施設である公民館や北地区コミュニティセンターを利用いただき、宿泊を伴う場合は休止期間以外の開催や他施設の利用をお願いいたします。なお、休止期間でも冬山登山などの際は、トイレの利用はできます。

問 敬老会に参加。秋田県民歌は歌うが市民歌を歌うことがない。市民としては誇りを持って市民歌を歌いたい。

答 余興を企画していただいている大館地区婦人会と協議します。

問 大葛金山資料館は、言わないと開けてくれない。資料もガラスケースの中で手に取れない。資料館を残して充実させ、観光客が来るようにしてほしい。

答 大葛金山資料館は、午前9時から午

後4時までの営業時間で通年運営しています

が、ベニヤマ自然パークの運営も同時に行っており、セキユリテイの関係上、一時施設していること

もあります。また、展示資料は劣化や破損防止等のため、ショーケースに入れています。今後も、引き続き資料収集に努めながら展示物の充実を進めます。



大葛金山ふるさと館

問 分館の設備に対する予算が少ない。雨漏りも修理してくれない。避難場所になっているのに毛布もなくカーテンなども防火用になっていない。また、発電機もない。

答 分館の予算について、山田分館の屋根葺き替えの実施が遅れておりますが、今年度に実施できるよう取り組んでいます。また、カーテンは、速やかに防災仕様とします。避難場所について、台風や水害等で避難が必要となったときは、市で指定する一次避難所や二次避難所へ避難することになります。一次避難所は災害発生時ただちに開設する避難所で、一定期間を過ぎるよう食料・飲料水・毛布及び発電機などを配置しており、まずは一次避難所に避難していただくこととなります。山田分館は必要に応じて開設する二次避難所であり、食料等の災害備蓄品は配置していません。避難が必要と認

められる場合には避難所を開設し、市が職員を派遣するとともに必要な備蓄品等を届けることになります。

問 災害があったときの水路を復旧してほしい。山田川上流の水路が災害で流されている。修復するため苦労しているが河川として格上げし市でやってもらえないか。また、もう一度現地を見てほしい。

答 市が管理する河川、受益者等で管理する農業用排水路、利用者で管理する法定外公共用財産である水路など、その管理区分や範囲に合わせ、それぞれの管理者で維持管理や災害対応などを行っております。なお、再度現地を確認します。

問 狐森地内の道路カーブがきつい。解消してほしい。

答 市道鳴滝線及び山田線は、バス路線とともに大型車両の通行が多く、狐森地内は、坂道のうえS字カーブとなっており、特に、ため池付近は6メートルの幅員が確保されているものの、両側がガードレールのため圧迫感があり、地域からもカーブ解消や拡幅要望が出されていますが、道路用地の確保が必要となりますので、地域の協力を仰ぎながら整備に向けた取り組みを検討します。

問 高齢者生産活動施設が存続の危機にさらされている。こんな立派な施設をなくさないでほしい。

答 地元関係者と協議を重ねましたが、地元が維持管理していくのは困難であるとのことから、将来的な廃止もやむを得ないとの地元の理解をいただいています。また、廃止までの間に地元や民間などから要望があった場合には、譲渡等に向け

て地域住民と協議しながら検討することとしており、廃止後、地域住民が活動の継続などを希望される場合は、地域応援プランなど地域コミュニティを支援する事業メニューを活用いただきたいと思います。

問 ハチ公の駅の中に祭りの山車を入れてほしい。観光のため。

答 ハチ公の駅（仮称）については実施設計を終え、今春から工事に着手し、来年度中には完成するよう進めています。山車の展示は、展示スペースの確保、開口部の制約及び管理上の問題などにより、実現は難しいと考えていますが、祭りの山車は、伝統文化的な価値や観光資源としても重要と捉えており、一昨年本市を会場に開催された「新・秋田の行事」、JR大館駅前で開催されているイベント「駅―ONE」において大館神明社例祭の「ひき山行事」が披露されるなど、観光イベントの目玉の一つとして活用されていますので、今後、活用場を広げよう検討します。



ハチ公の駅（仮称）建設予定地

引欠川の呼称について

富樫 孝 議員（新生クラブ）



〔問〕 地元と行政で呼称が違う。地元の呼称に直せないか。

〔市長〕 国土交通省の河川コード表に「ヒツカケガワ」とあり、県・市でもこれに倣っている。しかし、呼び方が違うことにより災害時の連絡などで不都合が生ずる場合があるため、地域の方々に呼び方を確認し「ヒカゲガワ」とすることについて県と協議したい。

ハチ公の駅（仮称）について

〔問〕 秋田犬やハチ公の資料を展示してDVDも映すようにしては。

〔市長〕 秋田犬を核とした観光拠点施設として、秋田犬やハチ公の資料展示・動画上映・グッズの販売を予定している。国内外を問わず多くの方が楽しめる施設となるよう整備したい。

敬老会について

〔問〕 送迎だけでもできないか。出席者が年々減少傾向にある。婦人会からは行政で送迎をやってほしいとの意見が多いが。

〔市長〕 敬老会は婦人会や町内会に委託し開催している。委託料の範囲内でマイクロバスやタクシーで送迎しているとところもある。委託料の柔軟な活用をお願いしたい。今後とも相談してまいりたい。

交通指導員の確保について

〔問〕 なり手が少ないため、魅力ある方法を考えては。漠然と隊員を募るのではなく退職金制度や制服、装備をきちんと整えては。

〔市長〕 退職金は、地方自治法で認められていない。制服などの装備は毀損等があった場合は交換している。引き続き待遇の改善を検討する。

除雪について

〔問〕 作業手順を業者と打ち合わせすべき。特に歩道と車道の除雪に無駄な作業が発生しないようにしてほしい。

〔市長〕 業者間で作業時間の調整を行うよう指導したい。

平成 30 年 3 月定例会

一般質問

大館市議会

検索

クリック



『親亡き後も障害のある子が安心して暮らせるように、相談や生活訓練や通所等の支援が一括して行われるような施設を整備してほしい』との声への対応について

佐藤 芳忠 議員（無所属）

〔問〕 第5期大館市障害福祉計画及び第1期大館市障害児福祉計画では、地域生活支援拠点等の整備を目標としています。これは現在障害者の生活を支えている親や家族が亡くなった後も、残された障害者やその家族が地域で安心して生活できるように、障害者が気軽に集まり交流できる場を設置しようとするものです。

国の施策で脱施設化が進んでいる現在、障害のある子供を持つ親御さんたちは、いつも親亡き後の子供の生活を心配しています。そして一人で生活できるようになるための生活訓練の場と交流の場を求めています。相談と生活訓練等が一括して行われる施設の設定を望んでいます。障害のある子供を持つ親御さんたちは、地域包括支援センターやデイサービスセンターがある交通の便の

良い場所に基幹相談支援センターが移り、相談や日常生活訓練や通所等の支援が連携して行われるような施設の設定を望んでいます。そのような地域生活支援拠点の整備について、市長のお考えをお聞かせ下さい。

〔市長〕 本計画では、障害のある方の親亡きあとを見据え、地域で安心して自立した生活ができるよう、地域生活支援拠点等の整備を行うこととしております。整備に当たっては、介護サービスなど障害福祉以外のサービスも含めた社会資源の活用を検討するとともに、新たに緊急時の受け入れや日中活動の体験の場・交流の場などを整備し、それぞれの機能を連携させて支援を行っていきたいと考えているところであります。これはまさに要望の声、「支援が一括して行われる施設整備」と方向性は同じであると考えております。

今後は既存の公共施設の活用も視野に入れ、関係する機関や団体からの意見を伺いながら検討してまいりたいと思います。

〔問〕 地域生活支援拠点が一つの施設の中にできるのであれば、日本でも初めてのことでと思います。是非、早急な整備をお願いします。

未来の観光戦略とふるさと納税の 使途について問う

日景 賢悟 議員（平成会）

〔問〕 市の観光戦略に顧客ターゲットの絞り込みをすべき。大館が持つ価値を理解できる顧客層に絞り、国単位のプロモーションではなく少ない顧客に徹底的な満足感を与えるペルソナ戦略が必要である。また、国内においては、渋谷区に焦点を絞った戦略が必要ではないか。

〔市長〕 台湾のみならず、タイ王国や富裕層が多いシンガポール等も重要なターゲットになる。秋田犬の人気の高まりの機を逃さず、ペルソナを設定し、個人客への高付加価値・プレミアム戦略を展開し、観光客に満足いただける地域づくりに取り組んでいく。また、渋谷区とのつながりを一層深めることが交流人口の拡大と地域産業発展への重要な鍵になると考える。

〔問〕 ハチ公の駅（仮称）をつくる意義と今後の活用の位置づけを

つかりと固めるべきではないか。私は大館と世界が秋田犬を媒体としてつながるための施設であると考えている。ゆえに、施設のコンセプトは「秋田犬」ではなく「交流と融合」と考えるが、市長の考えは。

〔市長〕 この施設の整備目的は駅前地区のにぎわいと活気の創出であり、秋田犬や忠犬物語をつなぎ、さまざまな御縁を紡ぐ施設として位置づけたい。今後は愛称募集や整備費に充当するクラウドファンディング（※）を実施する予定。さまざまなソフト事業に必要な予算については議会と相談して展開してまいりたい。

〔問〕 ふるさと納税の使途・目的のうち、育児や教育に関するものは具体化・明確化すべき。使途・目的を明確化することが本来のふるさと納税の姿であり、今後の大館の未来を左右することになると思うが、市長の考えは。

〔市長〕 「子供の成長支援」での寄附目的があったものについては、育児や教育に関する事業に重点的に充当し、寄附者の思いを施策に反映させていくとともに、ふるさと納税の使途区分についても現在の4項目からさらに細分化する見直しも視野に入れながら検討してまいりたい。

平成 30 年 3 月定例会 一般質問

一般質問の全文は、6月下旬に市のホームページへ掲載する会議録でご覧いただけます。

福原市政について

田村 儀光 議員（平成会）



〔問〕 市長就任から3年間を振り返っての感想は。

〔市長〕 市長就任からの3年間、ふるさと秋田のために我が大館がなせることを常に念頭に置きながら国や県、他の自治体との連携を強化し、国内外に広く目を向け、関係性人口・交流人口の拡大のための施策に全力を傾けてきた。本市からの国内外への情報発信が進み、観光入込客数が順調に伸びるなど、一定程度の成果をおさめたものと考えている。

「いま一度立ちどまっては」とお気遣いいただいたが、この大館への追い風を確かなものにするため、今まで以上にさまざまな施策に全力で取り組みなければならぬと考えている。市民の皆様を置き去りにすることなく、取り組みの成果が目に見えるような形で、ホームページや広報などで市長リポートとして情報発信

するよう努めたいと考えている。

〔問〕 人口減少対策、特に自然減への取り組みが弱かったと思うが。

〔市長〕 自然減の抑制を目指して、保育料や医療費の助成拡充、出産祝い金の創設、認定保育施設利用者向けの助成、在宅子育て世帯向けの子育て支援策を創設するなど、待機児童ゼロを目指すとともに、子供を産み、育てやすい大館を実現したいと考えている。一方、高齢者対策としては健康ポイント制度を創設したが、さらなる制度の見直しを図り、健康寿命日本一を目指していきたい。

〔問〕 大館版CCRCの考え方は。

〔市長〕 本計画はCCRCの文言を使わずに、わかりやすく「おおだて暮らしを楽しむ」基本計画と題しており、大館暮らしの魅力を充実させることで若年層を含む多世代の方々の健康長寿や生涯活躍を実現し、定住促進と移住者の獲得を目指すこととしている。まずは「大館暮らしの充実」イコール「市民生活の充実」を目指していきたいと考えている。

少子化対策、切れ目のない子育て支援（ネウボラ）について

佐藤 健一 議員（いぶき21）



〈問〉 大館版ネウボラ（※）について、今後のあり方などを伺う。

〔市長〕 大館版ネウボラである大館市子育て世代包括支援センター、愛称「子育てサポートさんまある」を開設し、専任の助産婦2人と兼任の保健師を配置した。妊娠34週と産後2週の妊産婦への電話訪問や、産科病棟を訪問して育児支援の情報提供などを行っているほか、祖父母を対象にした子育て支援講座も実施している。また、全ての妊婦について支援プランを作成し、特に心身の不調や育児不安等を抱えている方には、来所相談、家庭訪問、臨床心理士による相談を実施しており、設置2年度の今年度は来所相談件数が増加している。来年度は、不安や悩みを抱える母親の相談支援を行う子育てサポーターを育成し、次代を担う子供を安心して産み育てられるよう、支援の充実に努める。

農業対策について

〈問〉 大館産米のトップセールスの状況は。

〔市長〕 洪谷区や茨城県常陸大宮市、大阪府泉佐野市等と交流を図る中で、米を含む市の特産物全般のPRを行ってきた。その効果は、ふるさと納税額が増加し、返礼品として大館産米がかなりのウェイトを占めている状況や、きりたんぼまつりも盛況で、来場者が増加傾向にあることなどにあらわれていると認識している。

〈問〉 重点品物、枝豆の今後は。

〔市長〕 メガ団地事業の最終年度である30年度には、作付面積拡大の目標達成が見込めるため、31年度以降は支援方法の見直しが必要であると考えており、高品質加算や高収穫加算等の設定について検討しながら名実ともに「えだまめのまち大館」を目指していく。また、「朝採れ枝豆」を使用したペーストの商品化に向けた取り組みや、市内菓子店による倶楽部スイーツの枝豆活用商品の展開などとも連携していく。

平成 30 年 3 月定例会 一般質問

大館市議会

検索

クリック

JR扇田駅前にトイレ設置の要望が多いが

藤原 明 議員（平成会）

〈問〉 市としてトイレ設置についてJR側と協議を進めてほしい。協議不調の場合には、市単独でも設置の方向で検討していただきたい。

〔市長〕 市では、地元住民やまちづくり協議会の意向を踏まえ、JRに対しトイレの設置を要望してきた。JRからは、トイレの利用者が少ないため設置しないとの回答を得ている。しかし、JR花輪線は地域にとって欠かせない公共交通であるため、簡易トイレ等の設置について、JRと協議・検討していく。

達子森野球場の課題について

〈問〉 駐車場が少なく狭いという理由のため、高校野球大会の開催が見送りになっている現実を把握しているか。駐車場拡張整備計画が必要と考える。

〔市長〕 平成22年度までは、達子森野球場でも県北地区の高校野球大会が開催されていたが、現在は駐車場の収容台数が少ないため開催を見送っているところが続いている。当面は周辺の市有地・空き地等を活用する現在の形態で御利用いただきたいと考えているが、今後新たな用地取得を含めて検討する必要がある。

大館市の公園遊具について

〈問〉 遊具の更新・整備計画は策定されているか。安全保守点検などは、どのように行われているのか。

〔市長〕 公園施設の機能保全のため、平成21年度に大館市公園施設長寿命化計画を策定しており、28年度には計画の検証とあわせて、バリアフリー化の視点を加えた変更計画を策定している。一方、遊具については、担当職員が月1回の安全保守点検を行っている。御指摘の達子森公園の木製アスレチック遊具については、30年度予算に解体費を計上し、早期に解体する予定としているので、御理解をお願いしたい。



人口減少と新技術にどう向き合うか

小棚木 政之議員（平成会）

〔問〕 新技術の活用が始まっているが、法整備のおくれなどもあり、好機とも言える。技術革新による社会変化にどう向き合うか。

〔市長〕 県と連携しながら産業振興に注力するとともに、国・県から情報収集を進める。

ふるさとキャリア教育に
起業家教育を盛り込め
いか

〔問〕 教育成果が出ている反面、給与の低い企業も多く、若年層の人口流出に歯どめがかかっていない。

〔教育長〕 自前医師・教師育成のほか、起業家育成にも取り組んでおり、経済教育も試験導入した。これからの積極的に取り入れたい。

路線バス維持の方策は

〔問〕 移動困難者が始めている。バスを軸にした地域の機能維持のための多機能化や、利用者視点に立ったものに改めるべき。

〔市長〕 地域公共交通網形成計画で方向性を示すが、喫緊の課題で高齢者対策や利用者ニーズに合った運行など施策を検討する。

人口流出対策として情報
発信機能を兼ねた学生寮
を設置できないか

〔問〕 郷土への思いを切らせず、財の流出を食い止め、市の情報発信兼交流拠点を兼ねた寮を、ふるさと納税などを利用して設置できないか。

〔市長〕 県等の寮にあきがあるほか、多額の費用が必要で難しい。情報発信はさらに強化して進める。

花輪線の観光利用を

〔問〕 魅力ある観光資源ながら活用されていない。利用促進協はどうなっているか。企画型列車を仕掛けてはどうか。

〔市長〕 促進協では情報発信をしている。観光列車や臨時列車運行などを各所に働きかけたい。



平成 30 年 3 月定例会

一般質問

一般質問の全文は、6月下旬に市のホームページへ掲載する会議録でご覧いただけます。

本庁舎建設等は、公平・公正に地元企業で

笹島 愛子議員（日本共産党）



れた」との声も。全国のさまざまな取り組みなどを参考にしながら実施方を急ぐべき。

〔市長〕 公共交通不便地域となっている塞の神地区と西館地区で、タクシー補助券を活用した実証実験を実施した。今後、地域の実情によって異なるニーズを把握するため、座談会を開催するなど、市全体で公共交通を支える体制を構築していく。

将来を託す子供への投資について

〔問〕 ①秋田杉の食器を給食にもつと使用すること。②天然素材の遊具がある施設整備について。③給食に地元産野菜の使用をもっとふやすこと。

〔市長〕 ②大館に必要な遊び場について、今後どうあるべきか検討していく。

〔教育長〕 ①「マイ曲げわっぱ」は30年度から全ての小学校で実施するが、常用については衛生管理や洗浄の面から現時点では困難だ。③地場産野菜15品目の使用率は、28年度実績で31.5%、リンゴなどの地場産果実5品目の使用率は82%である。今後も使用率向上の工夫を重ねていく。

市民の日常生活に寄り添った
地域公共交通を急いで

〔問〕 交通の便が悪い地域住民の「足」を確保するよう何度も求めている。ある地域では「置き去りにさ

市臨時・非常勤職員の待遇改善、 会計年度任用職員制度等を問う

岩本 裕司 議員（新生クラブ）



〈問〉 臨時・非常勤職員の待遇改善、職域における正規職員との仕事をどうすみ分けていくのか。また、会計年度任用制度の実施経過と、制度をどのように整備し、質の高い公共サービスを提供していくのか。

〔市長〕 子育ての場において重要な役割を担っていたいただいている保育士について、処遇改善を図っているが、人員確保やモチベーションの維持・向上が喫緊の課題である。会計年度任用職員制度については、30年度中の条例改正を目指し、31年度中に策定する職員定数管理計画への影響も想定し、遺漏なく進める。住民ニーズに応える行政サービスの提供を行っていく。

生活困窮者の学習支援につ いて

〈問〉 生活困窮世帯を貧困の連鎖

から抜け出させるための学習支援事業に取り組むべきではないか。

〔市長〕 子どもの貧困対策推進事業計画の策定に取り組んでおり、生活困窮者自立支援制度の補助メニューを活用した学習支援等のため、具体的な検討を進めてまいりたい。

米の生産調整廃止に伴う農 家の不安を取り除く対策

〈問〉 生産調整廃止による農家の対立・不安を取り除く、市の独自対策は。

〔市長〕 米と米以外の作物との複合経営により推進していくことは重要である。大区画基盤整備や集落単位での法人化も支援してまいりたい。

第7期介護保険事業計画の 内容について

〈問〉 具体的な地域との関連性はどのように構築していくのか。

〔市長〕 自治組織が果たす役割は非常に重要であり、身近に集えるサロンをふやす取り組みを加速させ、介護予防や自立支援、生きがいづくりの推進に努めてまいりたい。

平成 30 年 3 月定例会

一般質問

大館市議会

検索

クリック

秋北バスターミナルの再興につい て

相馬 エミ子 議員（新生クラブ）

〈問〉 秋北バスターミナルが廃止

されてから5年近くなる。全てのバス路線が経由し、買い物や食事等で時間調整ができたほか、待ち合わせ場所としても交通弱者にとって利便性が高かった。公共交通の安全・安心を確保するために、バス路線の要であるバスターミナルの再興が求められる。75歳以上の運転免許自主返納者もふえているため、バス会社・ホテル・行政との三者協議の場を早急に設置し進めるべき。これに対し交通弱者や買い物難民救済のために幾ばくかの補助をしても市民は納得すると思うが、市長の考えを伺う。

〔市長〕 現在のバス路線は、バス事業者が総合的に判断したものである。以降、市民の動線は大きく変化し、市立総合病院といとくショッピングセンターがその役割を担っている。ご指摘の市民要望を踏まえ、利便性の向上を模索してまいりたい。

身寄りのない高齢者のお墓と終活

〈問〉 ひとり暮らしがふえ、遺骨の引き取り手がない、また、墓を守る人がいないなど、終活に不安を抱える人がふえている。今、横須賀市の取り組みが注目されているが、公的サポートと合同墓地の必要性について市長の考えを伺う。

〔市長〕 議員御指摘の理由等により、市営墓地から市外へ、または、他の永代供養墓へ墓を移したケースが平成27年度23件、28年度13件、本年度は2月末で21件発生している。今後の状況に応じ、合葬墓については、横須賀市の例を参考に市民相談体制等について検討したい。

文化会館にエレベーターを

〈問〉 高齢の利用者にとって2階リハールサル室への上り下りは大変であり、また、楽器や荷物等の運搬も困難である。芸術・文化の殿堂にエレベーター設置を望む市民の声がある。どのように応えるのか。

〔市長〕 外壁タイルに続き、今年度は吹きつけ塗装改修を行う。エレベーター設置は多額の費用を要するため、費用対効果を検証したい。





〔問〕 地元ができる仕事は地元が請け負う。それが雇用を促し、地域にお金を回し、地域の産業を育てる。ドームや病院、高速道路などゼネコンやむなしのときも確かにあるが、いい意味でのすみ分けは可能だ。地元経済界から提出された要望書や請願書、この声に応えたいと思う気持ちには皆一緒のはずである。

〔市長〕 本庁舎建設工事は大型の



本庁舎建設予定地

市役所の庁舎建設に代表される、大型公共事業の発注について

明石 宏康 議員（いぶき21）

発注案件。県内他市の建設事例を参考にし、工期や規模、技術的な難易度も総合的に勘案し、地元発注や工種ごとの分離発注について十分に検討する。

熊が頻繁に出没するエリアでのフードイベントについて

〔問〕 地域の若者たちが苦勞して考案し、汗を流して磨いてきたイベントを今後も続けてほしい。危惧しているのは内容ではなく開催場所であり、お客様・出店者・スタッフの安全性の担保がないと言わざるを得ない。補助金を支出する行政も積極的に議論に臨むべきだ。ハンターが銃を携行して用心棒のようなことはできないし、有事の際でも一般市民が数百メートル以内にいる場所では発砲もできない。

〔市長〕 市内全域での熊出沒について市民の不安感が広がっていることは十分に承知している。①人里の味を覚えさせない（誘因物の除去）、②緩衝帯の整備（里地里山の保全）を強く推進し、市民の安全を第一に考えた対応に努め、猟友会など専門家の意見を参考にしながら最良と思われる対策を講じていきたい。

平成 30 年 3 月定例会

一般質問

一般質問の全文は、6月下旬に市のホームページへ掲載する会議録でご覧いただけます。



農業の経営環境が大きく変化する本年、本市の農業の将来像を明確に捉え、対策を明確に打ち出すべきではないか

小畑 新一 議員（公明党）

業担い手確保支援事業などで支援してまいりたい。

〔問〕 今後予想される外国人の増加に備え、準備を進めるべきでは。

〔市長〕 外国人労働者が本市で暮らしやすくなるような仕組みづくりを検討し、外国人の移住・定住にも積極的に取り組みたい。

地域経済の活性化に結びつく観光振興が必要

〔問〕 秋田犬を前面に打ち出した宿泊型観光客の受け入れは。

〔市長〕 秋田県の観光消費額単価は著しく減少している。議員御提案の、秋田犬のブランドにさまざまな地域資源を組み合わせ、滞在時間の延長や宿泊客の増加を図る方策は極めて有効な手段と考える。

〔問〕 市道認定された岩瀬線に配電線を敷設し、さらに、宇宙ロケット資料室（仮称）を設置しては。

〔市長〕 議員御提案の道路と電気供給施設の同時整備は、観光振興と産業育成に資するものと考えている。国策と言えるロケット産業を支える場所が本市にあることは強みの一つである。先端技術に触れる機会を積み重ねながら子供たちの夢や希望が育まれるよう努めてまいりたい。

工業団地の産業振興について

〔問〕 人手不足の解決策は。

〔市長〕 高校2年生を対象とした地元企業説明会の開催、PR映像の配信、奨学金返還助成事業や地域産

平成 30 年度当初予算案を可決

—歴史まちづくり事業やあきた未来づくりプロジェクトが本格的に始動—

平成 30 年 3 月定例会は、2 月 27 日から 3 月 19 日までの 21 日間の会期で開催されました。市長提出議案は、審議の結果、全て原案のとおり議決しましたので、主なものを紹介します。



・ 歴史まちづくり事業

大館市の歴史的な風致の維持向上を図り、大館市に暮らすことに誇りと喜びを持てるようなまちづくりを進める事業です。平成 30 年度中の主な事業は、大館八幡神社など、歴史的な建造物の補修実施設計や、歴史的町なみ調査などを行う予定です。

・ 事業費 1 億 1,305 万円

・ あきた未来づくりプロジェクト

大館駅前の旧小坂鉄道駅舎跡地に、観光案内所や物産販売、秋田犬ふれあいコーナーなどを備える観光交流拠点としてハチ公の駅（仮称）を建設する事業です。平成 30 年度中に建設工事を行い、平成 31 年にオープンする予定です。

・ 事業費 5 億 3,113 万円

この 2 事業費を含む
平成 30 年度一般会計予算案
原案可決

大館市介護保険条例の
一部を改正する条例案

起立採決により原案可決

賛成 26
反対 1

平成30年度大館市介護保険
特別会計予算案

【請 願】

- ・ 景気対策のための大館市発注事業の地元企業発注について
- ・ 大館市庁舎建設工事の地元企業への発注について
- ・ 地域景況回復のための官公需の地元発注について

採 択

【陳 情】

- ・ 介護保険制度の改善、介護報酬の引き上げ、及び介護従事者の処遇改善と確保を求めることについて
- ・ 国民健康保険運営の都道府県単位化について

※ 議案や請願・陳情の結果の詳細は、大館市議会のホームページをご覧ください。

市議会を傍聴してみませんか

定例会と臨時会の本会議はどなたでも傍聴できます。

傍聴される場合は、市役所東側（裁判所側）3 階の議場入口で受付簿に住所・氏名等をご記入のうえ、係員の指示に従って議場へお入りください。

なお、団体での傍聴をご希望の場合は、傍聴席の数に限りがありますので、あらかじめ議会事務局にご連絡ください。

☎ 43-7108（直通）

編集後記

議会報委員を担当し、何よりも市民の皆様は手に取って読んでいただけるよう工夫を重ねてきていますが、いかがでしょうか。お気づきの点などご意見いただければありがたいものです。また、議会の傍聴ですが、決して面倒なことではありません。どうぞ気軽においでください。議会が身近に感じられると思います。私も議員の任期も残すところ 1 年になりました。市政や議会の動きを限られた紙面の中できっと発信してまいります。今後ともよろしく願います。



（佐藤 眞平 記）